

## ◆特に良いと思う点◆

《毎週班ミーティングを実施し、確実に利用者情報を共有できる仕組みを設けている》

職員間の連携を密に図るために、朝夕の申し送りのほか、班ごとのミーティング、毎月の職員会議を通じて利用者情報の共有を図っている。特に各班で実施しているミーティングは毎週実施されており、利用者の現状や課題について確認し、利用者一人ひとりの状態を確実に把握しながら、日々支援にあたる事ができている事は事業所の強みとして評価できる。職員調査の自由意見からも「毎週の班ミーティングの実施により、支援統一や情報共有ができている」事を強みとする意見も出ており、班ミーティングによる情報の共有化は事業所の強みとして評価できる。

《法人や事業所内、地域の行事に積極的に参加し、地域の一員として活動できる場を提供している》

法人のバザーやお祭りのほか、事業所主催の「ひこうせんまつり」を毎年開催し、利用者一人ひとりが1年間頑張った事の発表や生活班の創作活動で作った作品を販売している。「ひこうせんまつり」には、200名を超える地域住民の方が来場され、利用者も地域の方と触れ合う機会となっている。また、地域の公民館祭りにも参加をし、就労班の利用者が中心となり、豚汁、おしるこ、パウンドケーキ等を販売している。利用者が多様な社会参加が出来るように、法人や事業所内、地域の行事に積極的に参加し、地域の一員として活動できる場を提供している。

《利用者のできる事や希望を大切に、意欲的に取り組める活動を各班で実施している》

今年度生活班では、各種活動の中でも特にウォーキング活動及び室内運動に十分な時間を取り、体を動かす機会を増やす事に取り組んでいる。これまで歩行器を使用していた利用者が歩行器を使わず、職員の補助のみで歩行が可能となる等の成果が表れている。また、就労班においては、地域の製作所、ファミリーレストラン、美容室において実際の職場を体験するほか、職場のマナーや実際の職場を想定した訓練を通じ、一般就労への移行に向けた支援を充実させている。利用者のできる事や希望を大切に、意欲的に取り組める活動を各班で実施している。

## ◆さらなる改善が望まれる点◆

《ヒヤリハットの記入内容について、今一度職員間で確認していく事も必要であろう》

事業所内外における事故予防に向けた取り組みでは、事故につながりやすい危険事例についてを「事故・ヒヤリハット報告書」にヒヤリハット項目として蓄積し、職員間で情報を共有し、事故を未然に防いでいけるように取り組んでいる。提出件数も多く、事故の予防に意識高く取り組んでいる事は高く評価できる。しかしながら、ヒヤリハット項目として取り上げている内容が、事故内容に読み取れるものも挙がっている事から、事故につながる恐れのある危険事例を取り上げる事が出来るように再度確認していく事も必要であろう。

《個別支援計画書内において目標に対しての実施期間が明確になる事に期待したい》

個別支援計画書には、利用者、家族の要望のほか、短期、長期の目標、要望実現のための具体的課題、担当者、優先順位を明確にし、6カ月に一度計画書の見直しを行っているほか、年度末には利用者、家族と面談を実施し、意向や要望を確認し、個別支援計画書に反映する等、丁寧にケアマネジメントを進めている。今後に向けては、アセスメントの見直しやモニタリングの実施時期及び個別支援計画書内において目標に対しての実施期間が明確になる事に期待したい。

《》